

東京宣言

～ 第13回全国スポーツクラブ会議 2019 in TOKYO ～

総合型地域スポーツクラブが文部科学省のスポーツ振興政策としてスタートしてから24年、スポーツ・フォー・オール of 振興と平和な社会の構築を究極の目的とするオリンピック・パラリンピックの東京での2回目の開催まであと1年の今年、「第13回全国スポーツクラブ会議 2019 in TOKYO」参加者一同は、スポーツの楽しさと価値と力を再認識し、総合型地域スポーツクラブが地域を活性化させ、地域共生社会を実現するために以下を宣言する。

1. 総合型地域スポーツクラブは、スポーツをすることは人権の一つであることを深く認識し、年齢、性別、性的指向、人種、国籍、言語、宗教、財産、出自、身分、形態、障がいの有無、身体能力などの理由によるいかなる差別をすることなく参加者を受け入れ交流を促進させる。
2. 総合型地域スポーツクラブは、地域住民が「多世代」で「多種目」を「多志向」に楽しめる場になるために、多種多様なたゆまぬ努力をおこなう。
3. 総合型地域スポーツクラブは、地域コミュニティの核となるために地域住民の交流を促進させるさまざまな事業をおこなう。
4. 総合型地域スポーツクラブは、地域におけるすべての住民のためのスポーツの振興とスポーツを通じた地域の活性化のための多様な活動を展開するとともに、地域スポーツと町づくりの担い手として地域自治体や関係団体に対し提案と要請を積極的に行い連携する。
5. 総合型地域スポーツクラブは、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントと連携して地域住民のスポーツに対する関心を高め、スポーツに参加することを促して地域の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する。